

第9節 図面表示記号

水道設備等の図面表示記号は、表1-7、表1-8によるものとする。

表1-7 図面表示記号

1-9-1 地下埋設物の表示方法

当 局 水 道 管		他 企 業 埋 設 管	
既 設 管		既 設 管 路	
当 該 工 事 新 設 管		計 画 管 路	
〃 撤 去 管		撤 去 管 路	
別 途 計 画 管			
〃 撤 去 管		道 路 計 画 線	
存 置 管	 ※引出し線で表示する		

内の表示方法

上 水 道 管	Wφ150 DK h=1.20 撤去	関 電 管 路	E12孔 h=1.50
工 業 用 水 道 管	IWφ400 DK h=1.30	N T T 管 路	T9条 h=1.30 計画
		ガ ス 管	Gφ150 h=1.10 撤去
		下 水 道 管	Sφ600 h=2.50 計画

1-9-2 水道施設の表示方法

1. 新設水道管

	新 設 水 道 管		人 孔 (消 火 栓 付)
	片 落 管		急 速 空 気 弁
	栓 止 め		人 孔 (空 気 弁 付)
	制 水 弁		排 水 栓
	副 弁 内 蔵 式 制 水 弁		人 孔 (フ ラ ン ジ ふ た)
	単 口 消 火 栓		排 水 管 室
	双 口 消 火 栓		洗 浄 栓

2. 既設管

	空 気 弁	T . M'	遠 隔 測 定 装 置 (水 圧 ・ 流 量)
	制 水 弁		自 記 水 圧 計
	消 火 栓		洗 浄 栓
	排 水 栓		
T . M	遠 隔 測 定 装 置 (水 圧)		

3. その他施設の表示

K. B. M	仮 B. M	S・P	サイドポール
杭	杭・用地杭	P	ポスト
No.	測点番号	—(S)—	下水人孔
—(E)— —(E)—	関電人孔	—(S)—	雨水枳
○ E. P	電柱(関電)	—(G)— —(G)—	ガスピット・ バルブピット
E. P'	同上控柱	井	井戸
—(T)— —(T)—	N T T 人孔	○信	信号柱
○ T. P	電柱(N T T)	○灯	道路照明灯
T. P'	同上控柱		
□ T. B	電話ボックス		

(注) 割T字管及び不断水式仕切弁施工箇所は、引出し線で工法・口径を記入する。

1-9-3 配管図の表示方法

管記号	継手形式	備考	管記号	継手形式	備考
	NS形継手			GX形継手	
	S2形継手			P-Link	
	K形継手			G-Link	
	F形継手			GX形ライナー	
	S形継手			GX形管端面防食材	
	KF形継手			GX形乙字管	
	US形継手			GX形仕切弁(受挿し)	
	UF形継手			GX形仕切弁(両受け)	
	PN形継手			GX帽	
	P2形継手			铸铁管継手補強金具	
○	NS,S2形ライナー		◇	耐震補強金具	
△	離脱防止押輪		☆	耐震補強金具	
	管端面防食材				

品名	表示例			
配管図				
栓	K形 	S2形 	F形 	
帽	NS形			
付属施設	単口消火栓 	双口消火栓 	単口排水栓 	空気弁

表 1-8 上水道管及び工業用水道管の表示記号（材質、継手等）

材 質	内面塗装	継手 (受口形状)	呼 び 径	表示方法 1/500管理図面	記 入 例	
普通 鑄 鉄	タール	C 形 (ソケット)	89mm~1500mm	CC	<u>CC102</u> <u>CC100</u>	
高級 鑄 鉄	〃	〃	100mm~1500mm	FC	<u>FC100</u>	
〃 立 形	モ ル タ ル ライニング	〃	100mm~1500mm	FC ※昭和 31 年以降 モルタル ライニング管	<u>FC100-L</u>	
〃 砂 形	〃	〃	100mm~900mm			
〃 金 形	〃	〃	100mm~250mm			
〃 砂形・金形	〃	A 形 (メカニカル)	100mm~900mm	FA	<u>FA100</u>	
ダ ク タ イ ル 鑄 鉄	〃	〃	100mm~1000mm	DA	<u>DA100</u>	
〃	〃	T 形 (タイトン)	100mm~250mm	DT	<u>DT100</u>	
〃	〃	K、KF形	300mm~	DK又は(DKF)	<u>DK400</u>	
〃	〃	S、SⅡ形	100mm~	DS・DS2	<u>DS500</u>	
〃	〃	U、UF形	800mm~	DU又は(DUF)	<u>DU800</u>	
〃	〃	NS形	75mm~200mm	DNS	<u>DNS200</u>	
〃	エポキシ樹脂 粉 体 塗 装	NS、SⅡ、S、K、KF、U、 UF、US、PN形	75mm~1200mm	DNS (ε)	<u>DNS200(ε)</u>	
〃	エポキシ樹脂 粉 体 塗 装	GX形	75mm~250mm	DGX	<u>DGX200(ε)</u>	
鋼 管	エポキシ系	溶 接		S	<u>S800</u>	
遠心力鉄筋コンクリート管				RC	<u>RC100</u>	
硬質塩化ビニル管		TS継手		V	<u>V75</u>	
耐 衝 撃 性 硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管		TS継手		HIV	<u>HIV75</u>	
更 生 管	ライニング施工管 〔エポキシ系(モルタルを含む)〕		100mm~350mm	R ₁	<u>100 (R₁-S46)</u>	
	〃 (シールホース)		400mm~	R ₂	<u>400 (R₂-S58)</u>	
	内管挿入 (ダクタイル鑄鉄管)		PI、PⅡ、 PⅢ、PN形	100mm~1200mm	1350(DP ₂ 1000)	<u>1350(DP₂1000-S57)</u>
	〃 (鋼管)		溶 接		1350(S1000)	<u>1350(S1000-S57)</u>

第10節 弁室類築造工

1-10-1 制水弁蓋の裏面銘板部の表記

1. 受注者は、制水弁鉄蓋の裏面銘板部に口径、完工年月を記入するものとする。
2. 制水弁がソフトシール弁の場合は赤色とし、No.欄末尾にSと記入するものとする。

1-10-2 継足しキーの取付け

1. 制水弁設置後、表1-9により継足しキーを取付けるものとする。
2. 設計時における継足しキーの選定は、下記計算式によるものとする。

$$L = \text{土被り} - 500 - H + D / 2$$

L：継足しキーの適用範囲（mm）

D：口径（mm）

H：制水弁の基準高さ（mm）

表1-9 継足しキー選定基準（単位：mm）

L	継足しキーの長さ	色
300未満	取付けしない	—
300以上400未満	300	白
400以上600未満	500	黄
600以上800未満	700	赤
800以上	1,000	緑

3. 継足しキーの取付

施工後にL寸法(図1-7)を実測し、表1-9により継足しキーを選定し、取り付けなければならない。

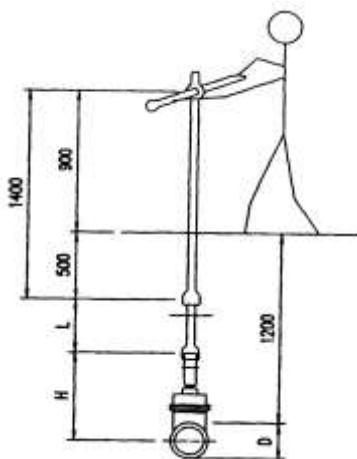


図1-7 継足しキーの取付方法

1-10-3 制水弁室及び消火栓室類の構造

制水弁室及び消火栓室類の構造は、別冊「弁栓室類標準図集」図1-8～図1-25及び別冊「制水弁保護ブロック標準図集」図1-26～図1-36によるものとする。

1-10-4 消火栓室築造

1. スピンドルキャップから鉄蓋裏面までの間隔は10～20cmとし、消火栓本体は消火栓室の中央部に設置するものとする。
2. 受注者は、円形鉄蓋を使用する場合、鉄蓋の設置に当たって、開閉作業に支障のないよう蝶番の位置に注意して設置するものとする。
3. 受注者は、円形鉄蓋を使用する場合、管工事完了後、速やかに消火栓台帳に必要事項を記入したうえで、設計図面（写し）とともに本市監督員へ提出しなければならない。
（第7編 様式-36）
4. 受注者は、円形鉄蓋を使用する場合、本市監督員から通知のあった新設消火栓番号を鉄蓋へ設置しなければならない。なお、新設消火栓番号の設置は、管理ナンバープレートを使用し、本市監督員の指示に従わなければならない。